

平成23年行政事業レビューシート

(環境省)

事業名	自然環境に配慮した再生可能エネルギー推進事業		担当部局庁	自然環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度～平成25年度		担当課室	国立公園課 野生生物課 自然環境整備担当参事官室		国立公園課長 上杉哲郎 野生生物課長 亀澤玲治 自然環境整備担当参事官 大庭一夫		
会計区分	エネルギー対策特別会計(エネルギー需給安定)		施策名	1-2 国内における温室効果ガスの排出抑制				
根拠法令(具体的な条項も記載)	特別会計に関する法律第85条第3項第1号ニ特別会計に関する施行令第50条第8項第7号		関係する計画、通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	風力発電施設における希少猛禽類に対する効果的なバードストライク防止策並びに地熱発電施設における温泉資源・地下水に及ぼす影響及び国立公園の風致景観上の支障について軽減策の検討を行い、自然環境に配慮した再生可能エネルギーの推進を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	○風力発電施設における希少猛禽類に対する効果的なバードストライク防止策の検討 ・風車への色彩塗装の効果検証、風車の高さ、位置による衝突影響分析の効果検証等バードストライク防止に資する調査や検討を実施。 ○中小水力発電施設における河川環境への影響軽減策の検討 ○メガソーラー発電施設・地熱発電施設における国立公園の風致景観上の支障の軽減策の検討 ○地熱発電施設における温泉資源・地下水への影響軽減策の検討							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	20	67	87	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	20	67	87	
	執行額	-	-	20	-	-		
	執行率(%)	-	-	99%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	H22においては、海ワシ類における風力発電施設に係るバードストライク防止策検討委託業務を実施しているが、本事業はH22～H24まで各種調査等及びそれらに基づく防止策についての検討を実施するものであり、定量的な成果目標及び成果実績を示すことはできない。			%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	H22においては、海ワシ類における風力発電施設に係るバードストライク防止策検討委託業務を実施しているが、本事業はH22～H24まで各種調査等及びそれらに基づく防止策についての検討を実施し、3年間の結果をもって保全方策を作成するものであり、現時点において定量的に活動指標及び活動実績を示すことはできない。			人日	-	-	-	-
単位当たりコスト	算出根拠		-					
平成23・24年度予算	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	二酸化炭素排出抑制対策事業等委託費	67	87					
	計	67	87					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>当事業は平成22年度より海フシ類における風力発電施設に係るバードストライクの軽減に資する各種調査、検討を実施しているが、調査等に当たってはこれまでの知見等をもとに調査地や調査手法を選定し効率的に実施している。当事業は平成24年度まで行う予定であり、今後も引き続き知見を収集しながら事業の効率化を図っていく。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	引き続き効率的な事業実施に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

環境省
20百万円

風力発電の推進と希少な野生生物保護との両立を図り、国民の理解を得られる適切な配慮を実施することができるようにする



【総合評価 委託】

A.(財)日本気象協会
(共同事業者;NPO法人バードリサーチ)
20百万円

立地環境からみた衝突リスクの検証調査、海ワシ類の渡り状況等と衝突リスクの検証、

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.(財)日本気象協会(共同事業者:NPO法人パードリサーチ)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	現地調査、検討会運営、報告書とりまとめ等	6			
外部委託	株式会社 猛禽類医学研究所 衝突個体の医学的剖検による衝突状	4			
借料損料	レンタカー等	2			
旅費	現地調査、事前打合せ等	1			
諸謝金	検討会、調査謝金	1			
その他	通信運搬費(機材運搬費等)、印刷製 本日(報告書印刷)、消耗品費(ガソリ)	6			
計		20	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本気象協会(共同 事業者:NPO法人バード リサーチ)	立地環境からみた衝突リスクの検証調査、海ワシ類の渡り状況等と 衝突リスクの検証、死亡個体の医学的剖検等	20	1	99
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					